

MINATO CITY



**新たな助成制度と専用相談窓口で、  
不妊に悩む方に寄り添った支援を行います**

令和4年10月18日  
区長記者発表

# 不妊治療が保険適用に

令和4年4月～

不妊治療に保険が適用

一般不妊治療 … タイミング法・人工授精  
生殖補助医療 … 体外受精・顕微授精など

全額自費だった  
不妊治療が保険適用で  
3割負担に！



▶ 効果のある治療法が確立され、誰もが気軽に安心して受診できる体制が整備された

## ■保険適用前の制度■

国の助成

「不妊に悩む方への特定治療支援事業」  
1回最大30万円を助成

区の助成

「港区特定不妊治療費助成事業」  
1回最大30万円を助成

23区最大額

1回最大  
60万円助成

# 保険適用前後の治療の分類の違い

## ■保険適用前■

自由診療

不妊治療におけるすべての治療が自由診療

## ■保険適用後■

保険適用治療

一般不妊治療  
生殖補助医療

保険適用外治療  
(先進医療)

保険適用ではないが、  
保険適用治療との併用OK

自由診療

保険適用治療との併用が  
認められていない

組み合わせ可能( ■ の治療に保険が適用される)

組み合わせるとすべての治療が自由診療になる( ■ の治療に保険が適用されない)

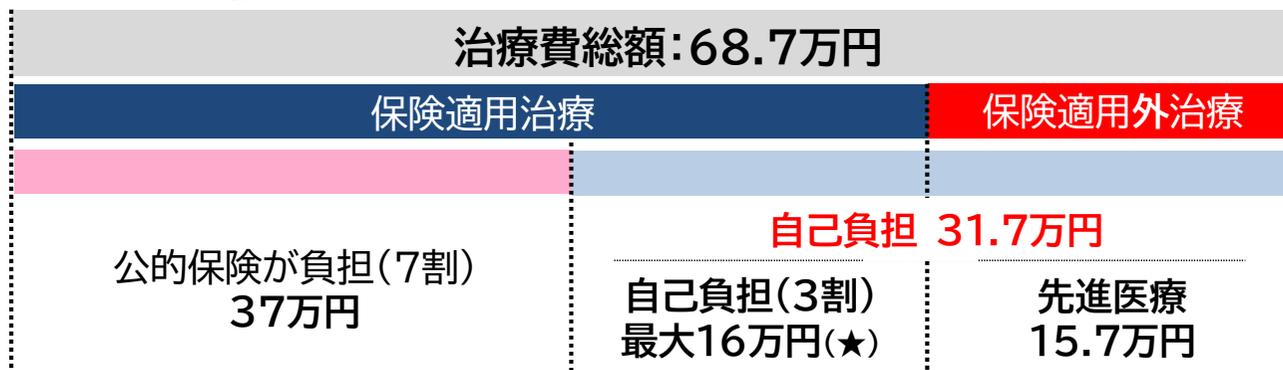
# 保険適用後の治療費

保険適用前の区の助成制度で申請が多かった、顕微授精を行った場合の費用例(一部先進医療を含む)

## ■保険適用前■



## ■保険適用後■ ★「自己負担(3割)」は、高額療養制度の適用で減額の可能性あり



### 保険適用になると…

- 同様の治療でも総額が下がる
- 保険適用治療の3割負担と保険適用外治療の費用を合わせると、自己負担は増える!

そこで

- 保険適用に ●東京都が助成を新設(先進医療でかかった費用の7割を助成・上限15万円)  
合わせて ●区の支援制度もリニューアル

# 助成を利用した場合の治療費

■助成利用前■ ★「自己負担(3割)」は、高額療養制度の適用で減額の可能性あり

治療費総額: 68.7万円		
保険適用治療		保険適用外治療
公的保険が負担(7割) 37万円	自己負担 31.7万円	
	自己負担(3割) 最大16万円(★)	先進医療 15.7万円

自己負担  
**31.7万円**

約1/2

最大**16万円**

最大45万円分の  
先進医療を  
自己負担なしで  
受けられる!

■助成利用後■

自己負担は減額		
保険適用治療		保険適用外治療
公的保険が負担(7割) 37万円	自己負担(3割) 最大16万円(★)	都の助成 上限15万円 先進医療 区の助成 上限30万円 合計45万円

自由診療を選択した場合でも**上限30万円を助成**  
 → 保険適用の有無に関わらず、「希望の治療を受けたい」という思いに寄り添い、手厚く支援!

# 不妊治療支援の概要

**対象** 医療保険制度に準ずる

事実婚も対象・男性不妊治療も対象・所得制限なし

**年齢の条件** 治療開始時に女性が43歳未満であること

**助成回数**

初めての治療開始時点の女性の年齢	回数の上限
40歳未満	通算6回まで(1子ごとに)
40歳以上43歳未満	通算3回まで(1子ごとに)

**支援内容**

**先進医療:** 上限30万円/1回 (都の助成に上乗せ) **自由診療:** 上限30万円/1回  
不妊・不育相談ダイヤル

包括的支援!

**開始適用年月日**

令和4年4月1日

さかのぼって適用

**申請受付開始時期**

令和5年1月(予定)

妊娠を望む区民の、治療などによる経済的・精神的負担の  
軽減に向けて支援していきます!

